

編集後記：新しい年が始まった。昨年の国内は、深刻化する経済不況の問題が連日テレビや新聞で大きく取り上げられ、まさに経済不況一色の一年であった。このまま不況が長引くとその社会への影響の度合いも広がりもますます大きくなっていくであろうが、未だに出口もこれといった解決策も見えない状況である。このような中でも予算的に潤っているところもあるようだが、そのうちその反動が何倍にもなって帰ってくるのではないかと心配になる。取り返しがつかなくなる前に、今年こそまっとうな状態に戻る、とまではいかなくとも、その道筋が見えてくることを願いたい。

「天気」について言えば、昨年は、長い間検討と議論を重ねてきた結果、論文と短報に対する掲載料徴収と「天気教室」の欄の新設という2つの重要な方針が出された。後者については、会員の大きな割合を占める地方会員・研究が本務ではないような会員に対して如何に役に立つ情報や話題を盛り込むかという問題につ

いての、数年の長い時間をかけた議論によるものである。「天気」の内容が研究者向けに偏っており、そうでない読者層にとって魅力あるものとなっていないという趣旨の意見を受けての議論であった。「天気教室」以外の企画についても現在検討がなされている。

編集では、間違いをなくし形式を整えるという作業も神経を使い骨の折れる仕事であるが、各企画欄にどのような内容を盛り込んでいくかというアイデアを出す作業での苦労も大変大きい。この内容によって、「天気」の読者への魅力度が決まることにもなるため頭を悩ますところである。編集委員だけで思い付くことはそれ程多くはない。この1月号には、巻末に、「天気」のいろいろな欄が紹介されています。各欄の活用法や取り上げる話題について、多くの会員の方々のご意見、ご要望などをお寄せ下さるようお願いいたします。

(中村誠臣)

「天気」編集委員会

編集委員長 新野 宏(理事)

編集委員 神沢 博(理事)・関口理郎(理事)

藤部文昭(理事)・大泉三津夫

大野滋規・小田切さやか

木下 仁・木村陽一・小司禎教

住 明正・田口晶彦・鳥山泰宏

中村 尚・中村誠臣・新村典子

板東恭子・藤川典久・別所康太郎

水野孝則・水野 量・安田宏明

山本 哲

地区編集委員 北海道 岡村敏夫・上田 博

東 北 栗原弘一・早坂忠裕

関 東 加藤諠司

中 部 岩坂泰信・坪木和久

関 西 半澤洋一・山中大学

九 州 迫田優一・中島健介

沖 縄 豊見山 浩

編集書記 遠藤和子